



第5回国立環境研究所 E-waste ワークショップ

ご案内 (第一報)

開催趣旨

アジア地域においては、経済成長に伴う廃棄物発生量増加や循環資源の国際貿易が盛んになっており、なかでも、電気電子機器廃棄物すなわち E-waste については、不適正なリサイクル・廃棄による環境汚染の問題が指摘されるとともに、発生・流通量の増大や環境規制・処理施設の未整備などから、今後の対策の優先順位の高い対象といえます。

日本政府は 2004 年の G8 サミットで 3R イニシアティブを提唱して以降、各国での 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を通じて循環型社会の構築を目指す方向性や「ゴミゼロ国際化行動計画」などを世界に発表してきました。また、E-waste については、使用済み家電製品やパソコンなどの海外流出やその対応に国内で関心が高まるとともに、海外でもバーゼル条約事務局の「アジア太平洋地域における E-waste の環境上適正な管理プロジェクト」(2005~2008 年) や、2008 年 6 月には同条約第 9 回会合において「電子機器に関する行動のためのパートナーシップ (PACE)」が採用されるなど、アジア地域などでの E-waste の適正な管理に向けた活動が進んでいます。

私たち国立環境研究所では 2004 年以降、4 回の「国立環境研究所 E-waste ワークショップ」を開催してきました。これまでのワークショップでは、アジアを中心とした各国の専門家が集い、国際資源循環や各国の中での E-waste 問題の現状と課題を共有し、その 3R 推進に向けた課題を議論してきました。

近年は、E-waste の物質フロー分析について、国家間比較や越境移動の定量化、さらに金属資源の効率よい回収方法の検討などが求められています。加えて、有害性の詳細な調査と評価方法の検討や、環境汚染や健康被害の防止に向けた回収・リサイクルなどの具体的な取り組みも必要とされています。このような観点から、本年 11 月 17 日に開催する「第 5 回国立環境研究所 E-waste ワークショップ」においては、E-waste の物質フロー分析、有害性と評価方法、回収・リユース・リサイクルの課題と取り組みに焦点を当てます。各国の研究者が連携し、最新の情報を交換・蓄積することにより、E-waste 問題の解決に資することを目的としております。本ワークショップへ多数の関係者をご参加いただき、有益な議論が行われることを期待します。

開催日 2008 年 11 月 17 日(月)

場所 メルパルク京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13

TEL: 075-352-7444 FAX: 075-352-7390

<http://www.mielparque.jp/> (日本語)

主催 独立行政法人 国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/index.html>

言語 英語 (日英同時通訳があります)

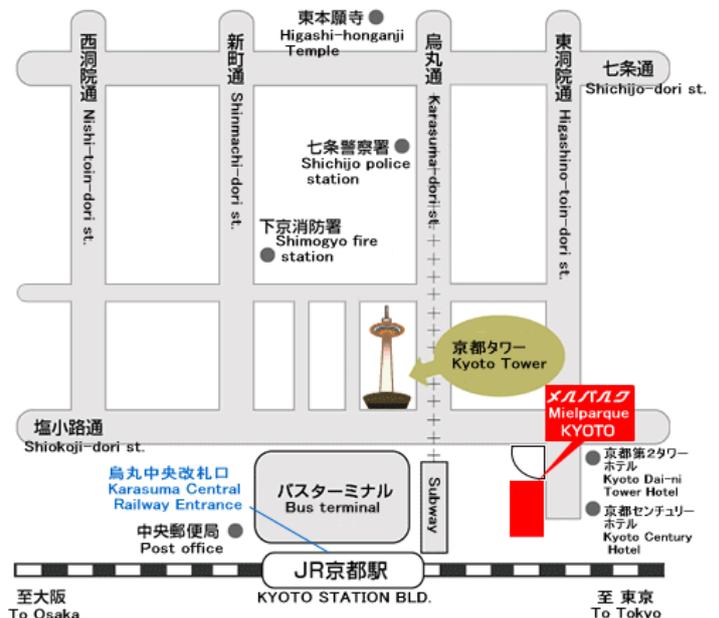
参加費 無料

参加登録 参加登録が必要です。

定員がありますので、氏名(ふりがな)、所属、住所、E-mail、TEL、FAXをお早めに下記までお送り下さい。

5e-waste@zencom-inc.co.jp

主催者から今後の関連のご案内を送る場合があります。不要な方は明記ください。



11 月 19 日(水)~21 日(金)には、京都大学で第 19 回廃棄物学会研究発表会が開催されます。

<http://www.jswme.gr.jp/> (日本語)

<http://www.jswme.gr.jp/international/> (英語)

暫定プログラム (敬称略)

11月17日(月)	
9:00	受付開始
9:20	開会挨拶
9:25-10:40	セッション1 「E-wasteの物質フロー分析」 寺園 淳 (国立環境研究所, 日本) Ricardo T. Villavert (フィリピン大学ディリマン校, フィリピン) 中島謙一 (国立環境研究所, 日本)
10:40-11:00	休憩
11:00-12:00	山末英嗣 (京都大学大学院, 日本) Perrine Chancerel (ベルリン工科大学, ドイツ)
12:00-13:20	昼食
13:20-15:10	セッション2 「E-waste リサイクルの有害性と評価」 肴倉宏史 (国立環境研究所, 日本) Satish Sinha (Toxics Link, インド) Roland Weber (POPs Environmental Consulting, ドイツ) 高橋 真 (愛媛大学, 日本)
15:10-15:30	休憩
15:30-17:10	セッション3 「E-wasteの回収・リユース・リサイクル」 吉田 綾 (国立環境研究所, 日本) 村上進亮 (東京大学大学院, 日本) Feng Wang (国連大学, オランダ) 李 金恵 (清華大学, 中国)
17:10-17:40	総括討論
17:40	まとめ・閉会挨拶

主催者事務局 寺園 淳, 渡部真紀子, 佐藤恭子

独立行政法人 国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター
TEL: 029-850-2506 FAX: 029-850-2931 E-mail: terazono@nies.go.jp

運営事務局 岡山善子 有限会社ゼン・コミュニケーションズ

FAX: 03-3532-0808 E-mail: 5e-waste@zencom-inc.co.jp

個人情報について 参加登録で頂いた個人情報は、主催者と運営事務局によって厳重に管理いたします。